

わが家のねこ

三年 鈴木美華子

わたしの家には四月にかいはじめたばかりのねこがいます。キジトラもよりのメスで、スコティッシュフォールドというしゅるいです。せいかくはあまえんぼうです。すぐにゴロゴロと言つて、たくさんでさせてくれます。そしてとても遊ぶことがとく意です。いつもわたしはねこの遊ぶスピードについて行けません。とくに気に入ったおもちゃで遊ぶ時はとても早く、こうふんしすぎてどこかへ走って行ってしまふこともあります。

この子は元々はほごねこでした。「多頭し育ほうかい」というじょうたいから、ほごだん体にはござれたそうです。せまい部屋で何十ぴきもいる兄弟たちとくらしていた時は、えさもしっかり食べられず、自由に動くこともできなかつたようです。兄弟の中には病気になつているねこもたくさんいたそうです。

この子にはほごねこの「じょうと会」で出会いました。ケージに入っていたけれど、あまりこわがつてはいないように見えました。少しきんちようしている様子だったけれど、さわつてもおこらなかつたです。とてもかわいいと思ひました。ほかのねこもいたのでなやんだけれど、わたしが

「この子にしたい。」

と決めました。ほごだん体の人も

「赤い糸がつながつていたんだね。」

とよろこんでくれました。

この子はわたしはじめてかうねこです。ずっとねこがかいたかつたけれど、アパートにすんでいたのであきらめていました。でも家をたてて、父のきよかももらえたことでやつとかうことができるようになりました。かう前にねこの本を三つも読んでべん強をしました。ねこをかうために知しきはとても大切だと思ひからです。そしてもつと大切なことは、さい後までせきにんをもつてかうとうかくごだと思ひます。そのかくごがない人はかうしかくがないと思ひます。

この子にはこれからもけんこうにすごしてほしいです。わたしもせいっぱい世話をしたいです。でも人間も動物もいのちのげんかいはあります。その時が来るのは早いかもしれませぬ。それでもわたしはたくさんのあいじょうを注ぎたいと思ひます。まだかいはじめたばかりだけどこれから何があつても大事にしたいです。